



ファームウェアのアップデートにより エントリーモデルAVレシーバーがDolby Atmosに対応 Dolby Atmosの音場空間を手軽に構築できる アドオンタイプのイネーブルドスピーカーも登場

TX-NR838/636 (ファームウェアアップデートによるDolby Atmos対応)

Dolby Atmosイネーブルドスピーカー SKH-410

映像フォーマットや音源は年々進化し、それらを再生する機器にも先進のコンテンツに対応する機能が求められています。2014年春に発売しましたオンキヨーAVレシーバーシリーズのTX-NR838/636では、DSD5.6MHz音源の再生、4K(Ultra HD)映像伝送や著作権保護技術HDCP2.2への準拠など、エントリークラスながら圧倒的な先進性を誇るモデルを導入いたしました。そしてこのたびTX-NR838/636において、ファームウェアのアップデートにより、革新的なシネマ音響技術 Dolby Atmosに対応いたします。従来のチャンネルベースのサラウンド音響に、音の動きや位置情報を重ねることで、リアルで立体感のある空間をつくり出すDolby Atmosのサウンド。直線的な音の動きだけではなく、垂直方向の音の移動も忠実に再現し、まるで映画の中に迷い込んだかのような没入感をもたらします。TX-NR838/636のファームウェアのアップデートによるDolby Atmosへの対応は、9月29日オンキヨーホームページにて詳細の公開を予定しています。

また、お手持ちのスピーカーシステムを活かしてDolby Atmosの視聴環境を構築できる、Dolby AtmosイネーブルドスピーカーSKH-410も発売いたします。Dolby Atmosの視聴環境を構築するには、従来の3.1ch/5.1ch/7.1chといったスピーカーシステムに、天井へ1組もしくは2組のスピーカーを設置して組み合わせる必要がありますが、天井へのスピーカー設置が難しい環境でもDolby Atmosの音響を楽しめるのが、Dolby Atmosイネーブルドスピーカーです。フロアスタンディング型のスピーカーの上などに設置いただき、天井からの反射音を利用してリスニングポジションに音を届けることで、手軽にDolby Atmosの音響空間をお楽しみいただけるようになります。

オンキヨーは今後も、ハイエンドモデルからエントリーモデルまで、再生環境まで含めたトータルのソリューションを提案してまいります。

※Dolby Atmosイネーブルドスピーカーは、視聴時に耳よりも上の位置での設置を推奨いたします。

ONKYO®



SKH-410(B)
Dolby Atmosイネーブルドスピーカー
オープン価格 10月中旬発売予定

- より手軽にDolby Atmosによる再生環境を構築できる、アドオンタイプのスピーカー
(従来の3.1ch/5.1ch/7.1chといったスピーカーシステムをベースに、SKH-410をハイトチャンネル分として追加)
- 天井に向けて放射した音の反射音を利用することで、Dolby Atmosの音場を構築
- D-509E/309E等のフロアスタンディング型スピーカーの上に設置して使用

最大入力	100W
定格感度レベル	84dB/W/m
周波数特性	90Hz～20kHz
最大外形寸法	幅120×高さ155×奥行き153mm(サランネット含む)
質量(1台)	1.2kg

■Dolby Atmosイネーブルドスピーカー SKH-410を利用したセッティング例



5.1.2ch



5.1.4ch